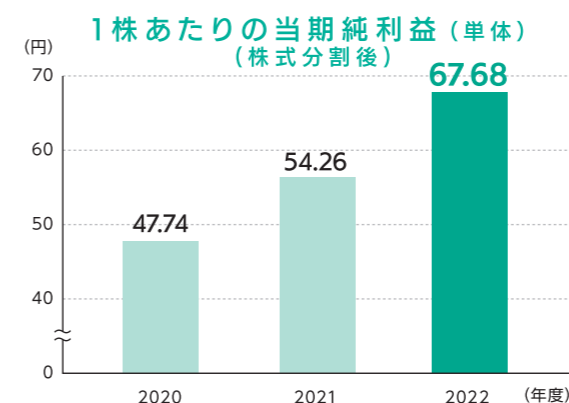
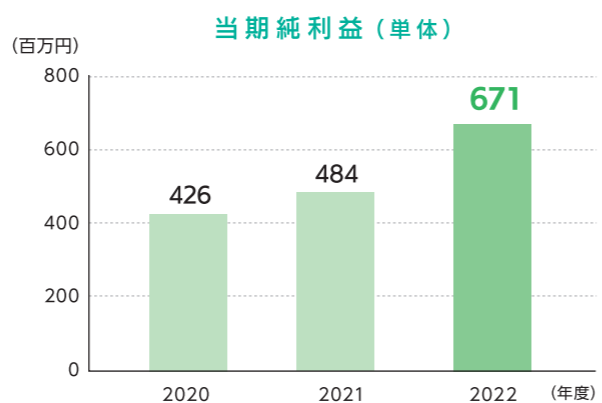
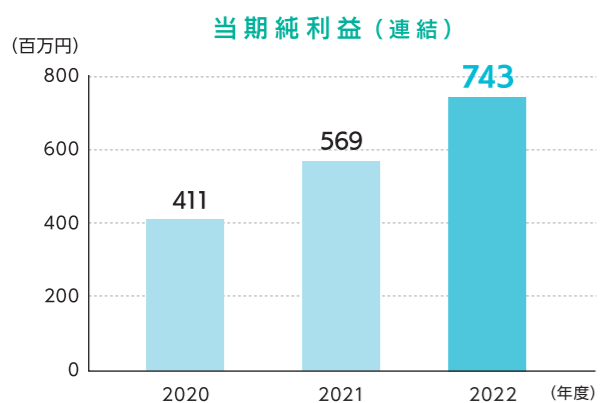
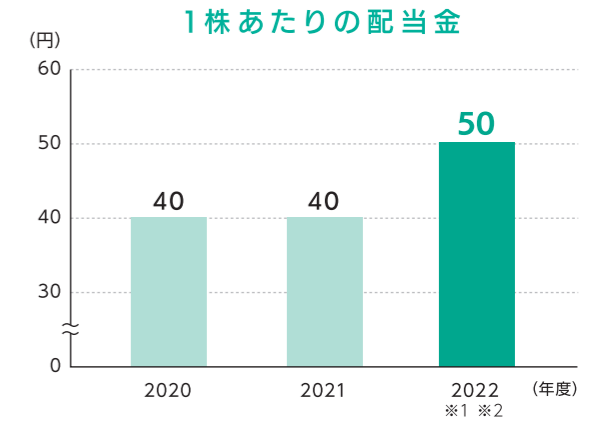
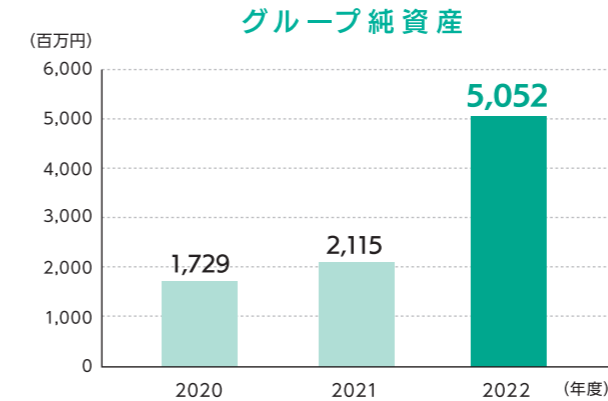
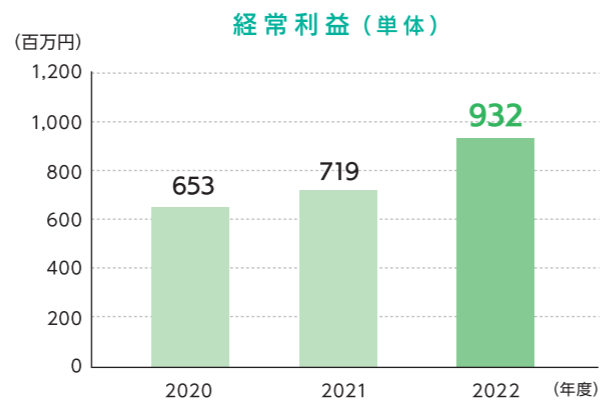
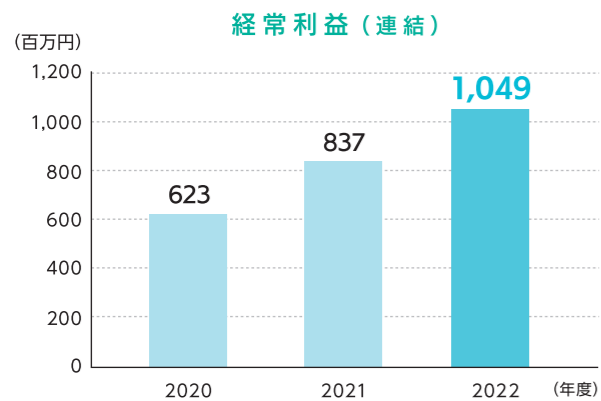
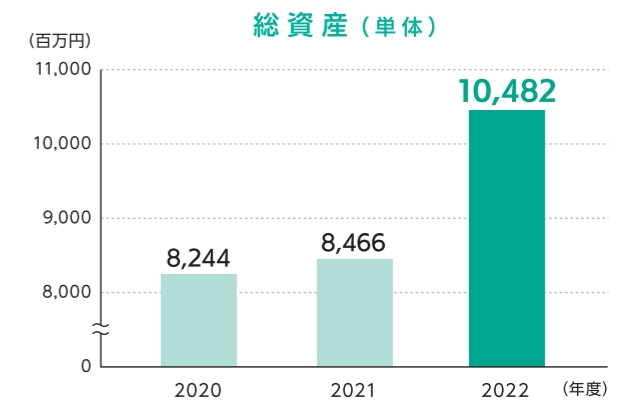
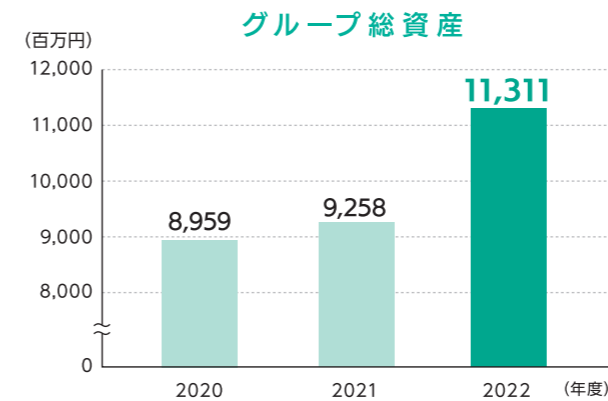
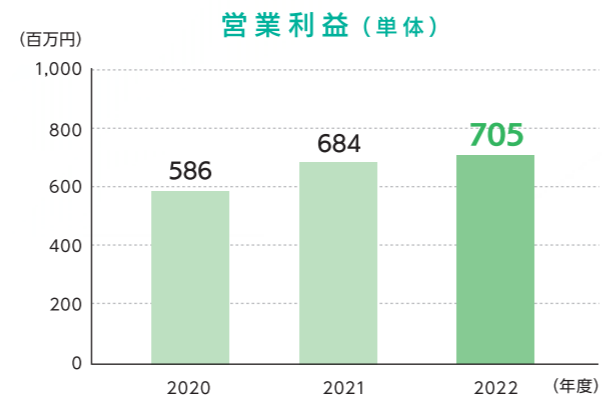
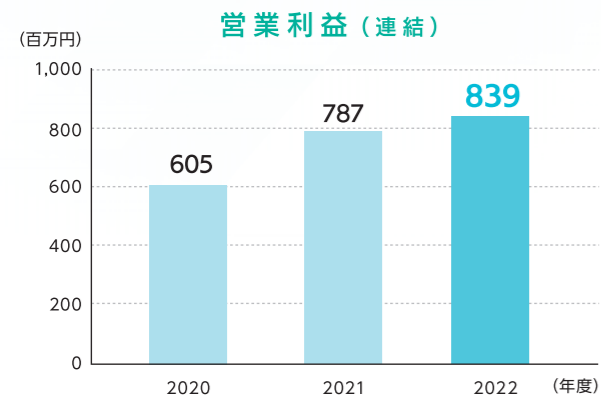
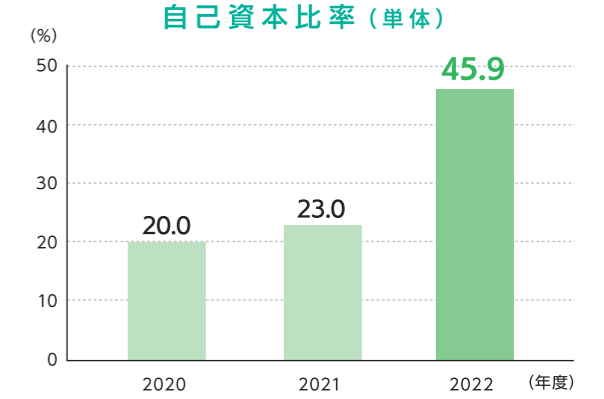
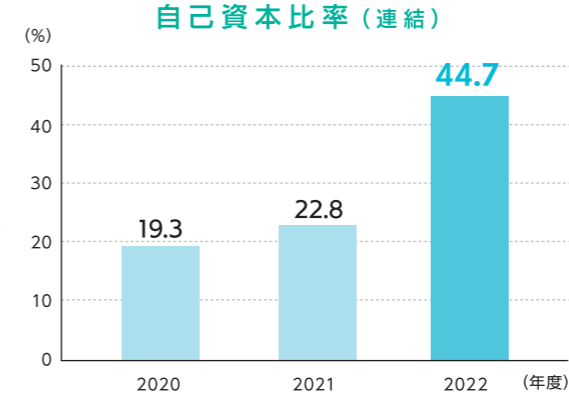
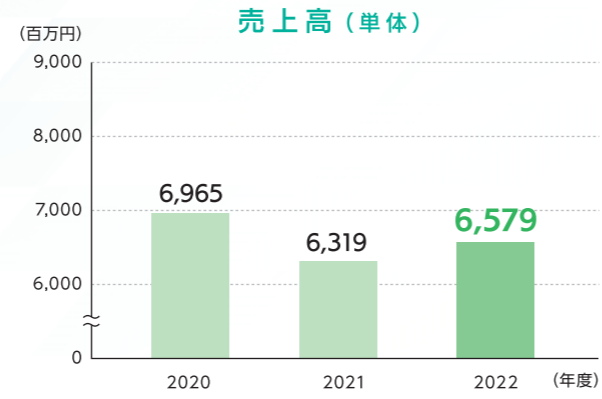
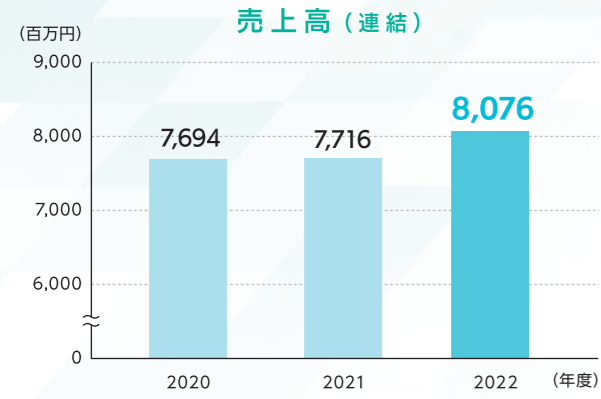
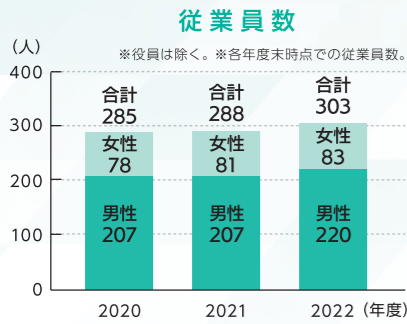


財務ハイライト

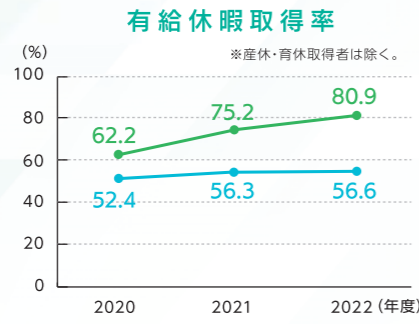


※1 設立75周年を記念して10円の記念増配を実施しました。
 ※2 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが上記配当金については当該株式分割前の配当金を記載しております。

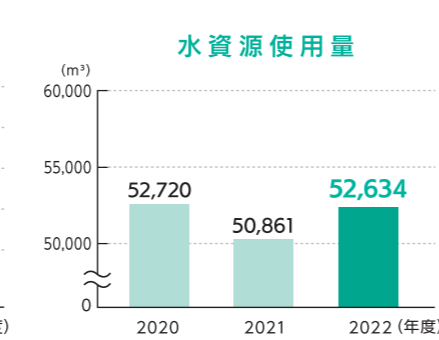
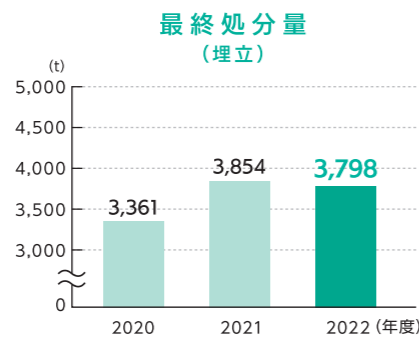
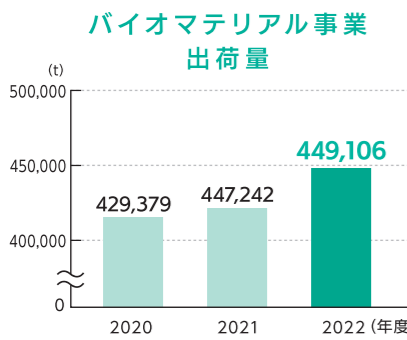
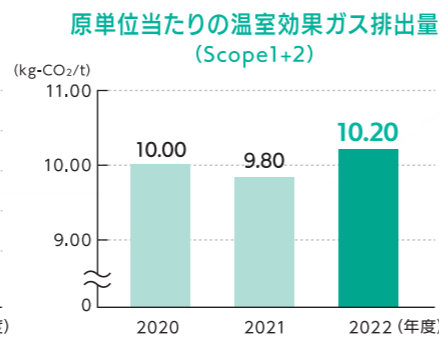
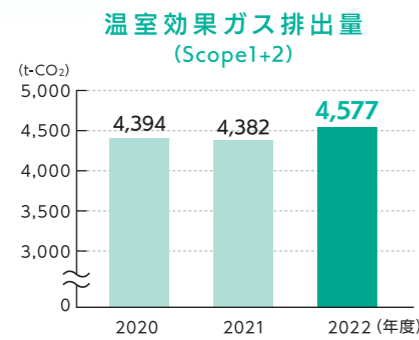
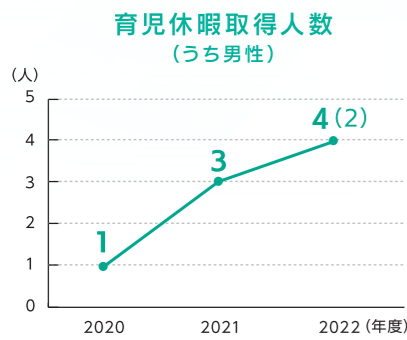
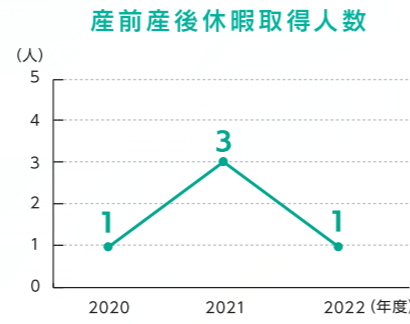
非財務ハイライト



2020年／合計のうち非正規社員数 男性：10人、女性：10人
 2021年／合計のうち非正規社員数 男性：6人、女性：10人
 2022年／合計のうち非正規社員数 男性：16人、女性：10人



— 有給休暇取得率 — 全国平均



TOPIC 2022年度新設工場のご紹介

木材チップの原料調達エリアの拡大を図るため、2022年5月に岐阜第二工場(大垣)、2022年11月に西東京工場(入間)を開業しました。岐阜第二工場(大垣)は東海地区の市場強化、西東京工場(入間)は初の埼玉県進出となり、さらなる業績拡大に寄与しています。



岐阜第二工場(大垣)



西東京工場(入間)

SDGs-IPOの資金充当状況並びに環境側面での改善インパクト報告

当社は、上場調達資金の資金使途(充当先)に関し、環境側面の改善インパクト及び当社グループ自身のESGへの対応状況の評価について、国際資本市場協会が発行する「グリーンボンド原則2021年版(Green Bond Principles; GBP)」の特性に基づき株式会社日本総合研究所の外部レビューを受け、「セカンドパーティ・オピニオン」を2021年12月30日に取得しております。

フルハシEPOの事業を通じたSDGsへの貢献意欲

目標	ターゲット	左記と関連する理由
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。	フルハシEPOでは、バイオマテリアル事業における木質バイオマス発電所向けの木質バイオマスの供給を通じて再生可能エネルギー由来の電力の供給に貢献することを目指している。
12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。	フルハシEPOでは、バイオマテリアル事業及び資源循環事業において木質廃棄物や建設副産物のリサイクルを手掛けることで、廃棄物の削減に貢献することを目指している。
15 陸の豊かさも守ろう	15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を防止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。	フルハシEPOでは、バイオマテリアル事業における木質資源のリサイクルにより製紙工程におけるバージン材消費の抑制に貢献することで、森林資源の保全及び持続的な利用の実現に貢献することを目指している。

調達資金の充当状況(2023年3月31日時点)

事業区分	対象事業	資金使途	資金充当状況
再生可能エネルギー	PJ-1 「岐阜第二工場」におけるバイオマテリアル事業	工場の新設(リファイナンス)	完了
	PJ-2 「西東京工場」におけるバイオマテリアル事業	工場の新設(リファイナンス)	完了
	PJ-3 「愛知第八工場」におけるバイオマテリアル事業	工場の新設	実施中
汚染防止及び抑制	PJ-4 「東三河リサイクルガーデン」における資源循環事業	工場の新設	実施中
	PJ-5 「柏リサイクルガーデン」における資源循環事業	工場設備の移転・拡充	完了 (2023年8月1日稼働)
	PJ-6 「湘南リサイクルガーデン」における資源循環事業	生産設備の増設	実施中

調達資金充当・稼働工場における環境側面の改善インパクト(2022年4月1日~2023年3月31日)

対象事業	環境側面の改善インパクト(SDGsへの貢献可能性)の定性評価
PJ-1 PJ-2 「岐阜第二工場」、「西東京工場」におけるバイオマテリアル事業	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 木質バイオマス発電所向けの木質チップの供給(岐阜第二工場3,900t/年、西東京工場3,770t/年)により、再生可能エネルギー由来の電力の供給が実現しています。
	12 つくる責任 つかう責任 木質廃棄物をボイラー用燃料や紙パルプ・木質繊維板等原料として木材チップにリサイクルすることにより廃棄物の削減(岐阜第二工場3,448t/年、西東京工場2,475t/年)が実現しています。
	15 陸の豊かさも守ろう 木質廃棄物等を紙パルプ原料として木材チップにリサイクルすることにより製紙工程におけるバージン材消費の抑制(岐阜第二工場538t/年、西東京工場163t/年)が実現しています。